

新潟大学の留学制度について

学務部留学交流推進課(H29.04 更新)

1. 新潟大学が実施するプログラム

(1) ショートプログラム

新潟大学では、語学研修、異文化体験、専門分野の実習などを目的として、夏期・春期休業を利用したショートプログラムを実施しています。ショートプログラムには、全学生が参加対象のプログラムと、特定の学部の学生を対象に実施されるプログラムがあり、後者を特に「専門分野プログラム」と呼んでいます。プログラムによっては履修科目として実施され、単位付与される場合があります。また、(独)日本学生支援機構(JASSO)の海外留学支援制度(協定派遣)により、返済不要の奨学金が給付される場合もあります。

各プログラムの参加対象者や奨学金の有無、単位付与に関する情報等については、募集説明会および募集要項などで確認してください。なお、募集説明会などの案内は、学務情報システムを通じてメール通知されます。

(2) 交換留学

本学と外国の大学(協定校)との間で結ばれている、学生交換協定に基づいて留学する制度です。交換留学を希望する学生は、学内選考、および協定校での選考を経て、1学期間(約半年)または2学期間(約1年)協定校へ派遣されます。留学期間は本学の修業年限(在学年限)に算入され、「授業料不徴収」協定が結ばれている場合、本学に授業料を納めれば、協定校へ授業料を支払う必要がありません。

大学間交流協定校については留学交流推進課へ、部局間交流協定校については各学部・研究科の学務係へ問い合わせてください。

(2-1) 大学間交流協定校への交換留学

○応募条件

- ・新潟大学に「在学」し、新潟大学に授業料を納入(協定校では学費は徴収されない)
- ・留学期間は、「1学期間(約半年)」または「2学期間(約1年)」
- ・渡航費・生活費などは自己負担
- ・単位認定は所属学部・研究科の判断による
- ・語学要件を満たすことが期待できる(協定校が語学要件を定めている場合)

留学中に取得した単位の認定は、所属学部・研究科の判断によります。留学期間は、修業年限に算入されますが、単位認定は所属学部・研究科の判断によるため、卒業要件を満たせるとは限りません。申し込む前に、卒業までのカリキュラムや単位について、所属部局の学務係や教員と十分相談してください。

○募集時期

- ・2~3月開始の場合...例年、前年の6~7月頃に募集
- ・8~9月開始の場合...例年、前年の10~11月頃に募集

上記募集時期はあくまで目安であり、協定校の事情などにより、前後する可能性があります。なお、募集通知は、学務情報システムを通じてメール通知します。

○「大学間交流協定校への交換留学」協定校一覧 ※1 ※2

国または地域	大学名	定員数 ※3	留学開始時期
オーストラリア	シドニー工科大学 (UTS)	1～5名 ※4	3月, 7月 ※5
カナダ	ニューブランズウィック大学 (UNB)	1～2名 ※4	9月 ※5
韓国	イナ仁荷大学	10名	2月, 8月
韓国	ハミョン漢陽大学	2名	3月, 8月
台湾	国立中央大学 (NCU)	3名	2月, 9月
フランス	ナント大学	5名	9月
タイ	チュラロンコン大学	3名	8月

※1:表内の情報は、協定校および留学先国・地域の事情により、今後予告なく変更となる場合があります。

※2:上記以外の大学間交流協定校へも、交換留学制度により留学を申請することができます。詳細は、該当ページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/campus/international/study-abroad/exchange/>) をご覧ください。

※3:定員数は、交流協定に基づきます。この定員数から、該当年度に留学中の本学学生の数を差し引いた数が、募集人数となります。

※4:定員数は年度によって変動します。

※5:開始時期は、年度によって異なる場合があります。

○英語要件について

協定校が語学要件を定めている場合は、出願時までには語学要件を満たしておく必要があります。学内選考への応募時点では、必ずしも要件を満たしている必要はありませんが、満たしている応募者を優先して採用する場合があります。また、協定校が語学要件を定めていない場合でも、語学能力試験を計画的に受験し資格を取得をすることで、各種奨学金制度や学内選抜の審査で有利になるほか、留学中の学習効果アップが期待されます。

現在のところ、語学要件を定めている大学間交流協定校は以下の2校です。 ※1

カナダ・ニューブランズウィック大学(UNB)		TOEFL iBT	IELTS (academic module)	
学部	※キャンパスにより履修科目が異なる	Fredericton Campus	92 以上	6.5 以上
		Saint John Campus	80 以上	6.5 以上
大学院		専攻によって異なる ※2	専攻によって異なる ※2	

オーストラリア・シドニー工科大学(UTS)		TOEFL iBT	IELTS (academic module)
(1)オーストラリア言語文化課程コース		35 以上 (writing 17 以上)	5.0 以上 (writing 5.0 以上) ※3
(2)正規履修科目コース			
学部	Most programs (except below)	79 以上 (writing 21 以上)	6.5 以上 (writing 6.0 以上)
	All Teacher Education, Pharmacy	94 以上 (writing 23 以上)	7.0 以上 (writing 7.0 以上)
	Engineering & IT undergraduate programs	60 以上 (writing 21 以上)	6.0 以上 (writing 6.0 以上)
大学院		専攻によって異なる ※2	専攻によって異なる ※2

※1:表内の情報は、協定校の事情により、今後予告なく変更となる場合があります。

※2:大学院については、専攻によって要件が異なりますので、留学交流推進課へ問い合わせてください。

※3:writing 以外のモジュールについても、5.0 以上を求められる場合があります。

○交換留学にかかる費用（目安）

留学先で最低限必要と思われる費用（寮費，食費，現地交通費等）の目安は，下記のとおりです。詳細は，募集の際に案内される，各協定校のファクトシートを確認してください。

国または地域	大学名	1 学期間
オーストラリア	シドニー工科大学 (UTS)	約 120 万円～
カナダ	ニューブランズウィック大学 (UNB)	約 100 万円～
韓国	仁荷大学	約 35 万円～
韓国	漢陽大学	約 50 万円～
台湾	国立中央大学 (NCU)	約 30 万円～
フランス	ナント大学	約 45 万円～

※上記の金額以外に，渡航費，査証（ビザ）取得費用，有効な旅券（パスポート）を持たない場合の旅券申請費用，個人が任意で加入する海外旅行保険，個人の小遣い，その他留学に関わる費用などが別途かかります。また，為替レートの影響や，協定校や留学先国・地域の事情により，料金は変動します。

○良くある質問

Q 1. 学内選考の評価基準を教えてください。

A 1. 選考は，学業成績及び書類・面接による適正審査により，総合的に行い（120 点満点中，学業成績を 60 点，適正審査を 60 点とする），点数の高い者から順に採用します。ただし，協定校が語学要件を定める場合，語学要件を応募時点で満たしている者を，優先して採用する場合があります。学内選考に関する詳細は，募集の際に案内を行います。

Q 2. いつ頃から語学試験の準備をすれば良いですか？

A 2. 交換留学に限らず，英語圏の大学や，英語圏でなくとも授業を英語で行う大学は，ほとんどの場合 TOEFL iBT または IELTS (academic module) の語学要件を定めています。両試験とも比較的難易度が高いといわれ，必ずしもすぐに語学要件を満たせるとは限りませんので，可能な限り早くから勉強を開始し，計画的に受験しておくことが推奨されます。

(2-2) UMAP 多大学間学生交換プログラムによる交換留学

UMAP（アジア太平洋大学交流機構）とは，アジア・太平洋地域における学生・教職員の交流を促進する目的で発足した団体です。本学は UMAP と大学間交流協定を結んでおり，上記「(2-1) 大学間交流協定校への交換留学」に準じ，UMAP 参加大学へ学生を派遣しています。年度によって募集時期は異なりますが，原則として年 2 回募集しており，募集要項などの詳細については，学務情報システムのメールアカウントへ通知されます。

派遣先として選択できる大学は，都度異なります。（過去の例として，インド，韓国，タイ，台湾，フィリピン，マレーシア，メキシコなどがありました。）なお，渡航先が英語圏でない場合も，現地での授業は原則として英語（派遣地域によってはスペイン語）で行われます。（ただし，専攻によっては，現地語のみで提供される場合もあります。）

○本学学生の留学実績

留学先国	留学先大学	留学期間
タイ	チュラロンコン大学 Chulalongkorn University	2014 年 8 月より 1 学期間
マレーシア	テイラーズ大学 Taylor's University	2015 年 3 月より 2 学期間
台湾	国立中興大学 National Chung Hsing University	2015 年 9 月より 2 学期間

※留学した学生は，英語で専門科目を学ぶコースを履修。

○応募・語学要件について

UMAP の募集については学内募集・選考から出願までの期間が非常に短く、早急に必要書類を準備しなければならない場合があります。また、ほとんどの大学は、出願時の英語要件を定めていますので、応募を検討する場合は、TOEFL iBT または IELTS(academic module)を計画的に受験しておくことが薦められます。

(参考) 英語要件は大学によって異なりますが、TOEFL iBT 79 以上、または IELTS (academic module)6.0 以上とするところが多いようです。

2. 学外のプログラム

新潟大学が実施するプログラム以外に、「私費留学」「個人留学」等と呼ばれる、学外のプログラムがあります。短期の語学研修から、学位取得を目的とする長期の正規留学まで、様々な留学スタイルがありますので、期間や行き先を自分で選択し、個人の責任で手続きを行ってください。

➤ 参考資料：外部団体等による海外留学プログラム

情報収集を行う際は、(独)日本学生支援機構(JASSO)の海外留学情報ページや、駐日外国公館(各国の大使館や総領事館を指します)のホームページなど、公的機関が発信する情報を活用すると良いでしょう。留学手続き代行・留学先斡旋・滞在中のサポートなどを行う留学斡旋業者(通称：留学エージェント)を利用する場合は、複数の事業者を比較検討し、トラブル(強引な勧誘、誇大広告、早すぎる支払い請求など)に十分注意してください。

<情報収集に役立つリンク集>

- (独)日本学生支援機構(JASSO)
 - 海外留学支援サイト(<http://ryugaku.jasso.go.jp/>)
 - 留学ガイドブック「私がつくる留学」(<http://ryugaku.jasso.go.jp/publication/guidebook/>)
 - 留学斡旋業者の利用について(注意事項) (http://ryugaku.jasso.go.jp/oversea_info/basic/agency/)
- 駐日外国公館ホームページ(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/link/embassy/index.html>)
- J-CROSS 留学サービス審査機構(<http://www.jcross.or.jp/>)
- 一般社団法人 JAOS 海外留学協議会(<http://www.jaos.or.jp/>)

3. 奨学金制度について

奨学金には、給付型(返還の必要のないもの)と貸与型(返還の必要があるもの)があります。渡航時期により申請期間が異なりますので、早めに情報収集し、申請手続きを行ってください。

(3-1) 給付型奨学金

ショート(3ヶ月未満)

奨学金の名称等	支給要件	内容・条件	問い合わせ先
JASSO 海外留学支援制度(協定派遣) 短期研修・研究型	①成績評価係数 2.30 以上 ②家計基準	月額 6~10 万円(給付型) ・JASSO に採択されたプログラム ・学部等が実施するプログラム ・大学院生等の海外研修ほか	・学務部留学交流推進課 ・プログラム担当教員 ・所属する学部・研究科 の学務係
外国政府等奨学金、地方自治体の奨学金、民間団体奨学金等	派遣先国、地域、 大学等による	派遣先国、地域、大学等による	※1

交換留学（3ヶ月～1年）

奨学金の名称等	支給要件	内容・条件	問い合わせ先
JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）	応募要件あり。 ①成績評価係数 2.30 以上 ②家計基準 等 学内選考により 決定	月額 6～10 万円（給付型）	所属する学部・研究科の 学務係又は学務部留学 交流推進課
外国政府等奨学金，地方自治体の奨学 金，民間団体奨学金等	派遣先国，地域， 大学等による	派遣先国，地域，大学等による	※1

トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム（28 日以上 2 年以内）

奨学金の名称等	支給要件	内容・条件	問い合わせ先
官民協働海外留学支援制度～トビタ テ！留学 JAPAN 日本代表プログラム ～ ※2 <次回募集（予定）> 【第 8 期】 募集期間：H29 年 7 月～H29 年 10 月 支援対象：H30 年 4 月～H30 年 10 月 までの間に留学が開始される計画	応募要件あり。 書類審査，面接 審査を経て採用 （平成 29 年 3 月現 在，新潟大学から 計 16 名の採用実績 あり）	奨学金月額（給付型） 【大学全国コース】 （家計基準あり） 12 万円または 16 万円 【大学オープンコース】 （家計基準なし） 一律 6 万円 留学準備金（定額） 15 万円（アジア地域） 20 万円（その他地域） 授業料（定額）* 支援期間が 1 年以内 30 万円 支援期間が 1 年超 60 万円 *大学または大学院を留学先機関と し，留学計画に沿った専門分野を学ぶ ことを目的とした授業の授業料のみ。	学務部留学交流推進課

長期（海外での大学院学位取得目的）

奨学金の名称等	支給要件	内容・条件	問い合わせ先
JASSO 海外留学支援制度（大学院学位 取得型）	①成績評価係数 2.6 以上 ②語学要件 等	内容は派遣先などにより異なる （給付型）	学務部留学交流推進課
外国政府等奨学金，地方自治体の奨学 金，民間団体奨学金等	派遣先国，地域， 大学等による	派遣先国，地域，大学等による	※1

○良くある質問

Q1. 成績評価係数は，GPA と同じですか？

A1. GPA とは異なります。JASSO の計算式に単位数，成績等を当てはめて算出します。

「成績評価係数計算表」はこちらに掲載しています。学務情報システムで自分の成績を確認し，
単位数，成績等を計算シートに入力すると，成績評価係数を計算することができます。

<http://www.niigata-u.ac.jp/campus/international/study-abroad/scholarship/>

Q 2. JASSO 海外留学支援制度とトビタテ！の違いを教えてください。

A 2. JASSO 海外留学支援制度は、大学が申請し採択されたプログラムが対象です。トビタテ！は学生本人が大学を通して申請書類を提出し、書面審査、面接審査を経て、採用された場合に支援を受けます。JASSO 奨学金に比べ奨学金等の支援が手厚いだけでなく、採用学生はトビタテ！派遣留学生コミュニティに属し、充実した事前・事後研修等を通して、日本全国の大学から集まる志ある学生と交流を深めることができます。

		A. 大学実施のショートプログラム	B. 交換留学	C. その他（自主的な海外調査、協定校以外の海外大学への留学等）
JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）	大学が申請し、JASSO に採択されたプログラムが対象	ほとんどのプログラムが対象	対象（ただし、人数制限あり）	対象となる場合あり（8日以上1年以内。所属学部・研究科の学務係へ問い合わせのこと。）
官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～	学生が（大学を通して）申請	対象外（ただし、B や C と組み合わせることで申請可能）	申請可（ただし、「実践活動」を組み込む必要あり）	申請可（28日以上2年以内。「実践活動」を組み込む必要あり）

（3-2）貸与型奨学金

奨学金の名称等	問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ・ JASSO 第二種奨学金（短期留学）：在学中の留学が対象（有利子貸与型） ・ JASSO 第二種奨学金（海外）：大学・大学院への学位取得留学が対象（有利子貸与型） ・ JASSO 第一種奨学金（海外協定派遣対象）：海外留学支援制度（協定派遣）採用者が対象 	学務部学生支援課 奨学支援係

※1 JASSO のホームページ（海外留学支援サイト）を参考にして、各自で調べてください。

<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

※2 官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～ホームページ

<http://www.tobitate.mext.go.jp/>

4. 留学相談

留学交流推進課では、海外留学を希望する学生のために留学相談を受け付けています。JAOS（一般社団法人海外留学協議会）認定留学カウンセラー資格を有する担当職員が相談に応じますので、留学相談を希望する場合は、下記手順に従って申し込んでください。

【対象者】 留学相談は、原則として「留学交流推進課実施の留学ガイダンスへ出席したことがある」方を対象としています。留学ガイダンスに出席したことのない方には、まずは資料をお渡ししますので、資料を読んで、相談の内容を具体的にしてから留学相談を申し込んでください。

【場所】 留学交流推進課（五十嵐キャンパス総合教育研究棟 D棟3階）

【オフィスアワー】 平日 8:30～17:15 ※祝祭日、年末年始などを除く

【予約方法】 1 留学交流推進課窓口で直接予約

2 留学交流推進課へメールで予約

（宛先：留学交流推進課海外留学担当 studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp）

➤ メール予約の際は、下記内容を必ず記載してください。

【件名】 留学相談申込（氏名）

【メール本文】

- ・ 氏名・所属学部（研究科）・学年・在籍番号
- ・ 留学交流推進課実施留学ガイダンスへの参加有無
- ・ 相談内容 ※できるだけ具体的に
- ・ 相談希望日 ※複数の日時を挙げてください

※相談内容によっては、メールのみで回答させていただく場合があります。

予めご了承ください。

【メール・電話での相談、問い合わせ】

メールまたは電話での相談等も受け付けています。

希望する場合は、下記情報をメール送付してください。

（宛先：留学交流推進課海外留学担当 studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp）

【件名】 メール・電話相談等申込

【メール本文】

- ・ 氏名・所属学部（研究科）・学年・在籍番号
- ・ 留学交流推進課実施留学ガイダンスへの参加有無
- ・ 相談内容 ※できるだけ具体的に
- ・ （電話相談を希望する場合）相談希望日（複数日時）と電話番号

※留学相談に関する詳細は、下記ページにも記載があります。

<http://www.niigata-u.ac.jp/campus/international/study-abroad/support/>

5. 新潟大学の留学情報に関するホームページ等

「新潟大学 国際交流・留学情報」のホームページには、留学や奨学金の案内を随時掲載しています。

留学に興味がある人は、定期的に確認すると良いでしょう。

<http://www.niigata-u.ac.jp/campus/international/>

(H28年4月にホームページリニューアルしました。)



「新潟大学 国際交流・留学情報」Facebook ページを始めました。留学ガイダンスや説明会等の開催情報を随時掲載しますので、ホームページとあわせて、ぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/niigata.univ.int/>



The screenshot shows the website's header with navigation menus in Japanese and English. The main content area features a large heading for 'International Exchange & Study Information' and a 'New Arrivals' section with a list of recent events and news items. Below the text are several image-based categories: 'Notice', 'Study Abroad', 'Global Human Resource Development', 'Study at Niigata University', 'Local and Middle School Connections', and 'International Exchange Data'.

The screenshot shows the Facebook profile page. The header includes the Facebook logo and the page name '新潟大学 国際交流・留学情報' with the handle '@niigata.univ.int'. The main content area features a large image of a modern university building.

(参考) 交換留学 参加までの流れ

※一例ですので、この限りではありません。

年次	項目	内容
1	留学情報収集 留学計画	<ul style="list-style-type: none"> ● 留学ガイダンスや募集説明会に参加し、情報を得る。 ● 国際交流・留学情報ホームページにアクセス <ul style="list-style-type: none"> ➢ http://www.niigata-u.ac.jp/campus/international/ ● 日本学生支援機構（JASSO）の「海外留学支援サイト」や、各国大使館のホームページで、留学情報や奨学金の情報を得る。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ JASSO 海外留学支援サイト (http://ryugaku.jasso.go.jp/) ➢ JASSO 留学ガイドブック「私がつくる留学」 (http://ryugaku.jasso.go.jp/publication/guidebook/) ➢ 駐日外国公館ホームページ (http://www.mofa.go.jp/mofaj/link/embassy/index.html) ● 留学交流推進課の留学相談を利用 ● 先生や先輩，家族に相談 ● 翌年の学内選考に向け，準備を開始する。特に，<u>必要な語学能力試験の受験準備を開始する。</u> ● 所属学部・研究科で，交換留学した場合の単位認定が可能かどうか，また，卒業までの学習計画を相談する。 ● FL-SALC（中央図書館内）で留学生との外国語チャットに参加したり，留学生の生活アシスタントやチューターを経験したりするなど，色々な活動にチャレンジする。 ● トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラムなど留学奨学金について情報収集し，申請を行う。
2～3	学内募集への応募	<p>開始時期により募集時期が異なるので，注意が必要。留学ガイダンスへの参加，留学交流推進課や各学部・研究科窓口で，常に最新情報を得ておく。</p> <p>(参考) 留学交流推進課が募集している大学間交流協定校の募集時期</p> <p>8～9月開始の場合 →前年10～11月頃に募集</p> <p>2～3月開始の場合 →前年6～7月頃に募集</p>
	留学準備	<ul style="list-style-type: none"> ● 留学手続きオリエンテーションへの参加 ● 協定校への出願 ● 所属学部・研究科へ留学申請書を提出 ● 旅券 (=パスポート)・査証 (=ビザ) の取得 ● 渡航前オリエンテーションへの参加 など
	留学	留学先大学へ出発
3～4	帰国後	<ul style="list-style-type: none"> ● 単位認定の申請 ● 留学体験談の執筆，留学体験発表 など